

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
声優・演劇科											
基礎演技Ⅱ											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習+ 実技	時間数	70	単位	2
担当教員	笹倉舞、田中由香、菅沼 秀 杜			実務 経験	有	職種	俳優(笹倉・菅沼)、声優(田中)				
授業概要											
個々の資質を伸ばしながら、呼吸法・発声法・発音訓練、それに伴う身体訓練などを含む演技の基礎を学習する。											
到達目標											
演劇表現を行う者つまり役者の基礎力を高めることを最重要視する。言葉で「伝える」ことの難しさを再認識し、基礎力をもって「わかりやすく伝える」ことを意識し、実践できるようになること。感情を開放し、コントロールしながら声と身体を使って、表現ができるようになること。基礎演技Ⅰで理解、達成したことを踏まえながら具体的な目標として「成果発表」をする。											
授業方法											
基礎演技Ⅰから引き続き「肉体トレーニング」「呼吸」「発声」を繰り返し、基礎体力の上昇や基礎能力を向上させ、発表に向けて備える。様々な演技の表現方法を学び、自ら考察を重ね、共演している学生間のコミュニケーションを確立させる。最終回の成果発表を通して、各自の今後の課題を見つけ、役者としての一歩を踏み出すための足掛かりにする。											
成績評価方法											
授業時間内に行われる発表方法・内容、積極的な授業参加度・授業態度によって、試験と課題を総合的に評価する。											
履修上の注意											
学生間・教員と学生のコミュニケーション・協働性を重視する。役者としての常識マナーを身につけるために原則として遅刻や欠席、見学は認めない。集中力を欠かさず、向上心と積極性を持って授業に参加することを求める。グループワークでの発表が多いので、協調性をもち、授業に参加できるようにコミュニケーションをとり、出された課題は各自クリアをするために日々研究を重ね、授業に臨むこと。授業時数4分の3以上出席が必須。											
教科書教材											
「ベーシックテキスト」その他、必要に応じてプリントを配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。											
回数	授業計画										
第1回	コミュニケーション感覚を伴った行動から心の動きを理解する。										
第2回	伝えることの大切さを学び、理解する。台詞を人に伝えることが出来るようになる。										
第3回	感情表現とスムーズに繋がる身体の状態やテンポと間を理解し、表現できる。										

基礎演技Ⅱ

第4回	自ら進んで役作りの研究をすることができる。
第5回	共演者と話し合いながらシーン作りが出来る。
第6回	色々な演技方を工夫して試みる事が出来る。相手のセリフを聞く事が出来る。
第7回	それぞれに稽古したシーンをつなげて全体の通し稽古が出来る。作品を客観的に理解する。
第8回	音楽を取り入れ、ステージ上にて世界観を表現することができる。
第9回	本番を想定し、リハーサルを行う事が出来る。
第10回	課題演技の成果をステージで発表することができる。